



DX

四国中央市立川之江小学校

全校児童：459名

学級数：19（特別支援学級含む）



教育目標

心豊かで たくましく 生きる子を育てる
ー自立〈いのち〉共生ー

研修主題

ICT



授業の工夫を系統立てて



具体的な取組

学びとる喜びや楽しさを実感できる 授業づくりの推進・深化

川之江小学校の具体的な取組

教育目標
心豊かで たくましく 生きる児童の育成

研究主題
主体的に学び合う児童の育成に向けた協働的な学びを促す取組

基本方針
様々な学力の向上と生活習慣の育成を図り、児童一人一人の個性を認め、伸ばし、誰もが輝ける学校を、教職員が協働して作り出す。

研究内容 (1) 学びとる喜びや楽しさを実感できる授業づくりの推進・深化 (学習指導)

○学習規律 (指示とルール of 徹底)

- チャイムで始める。
- 黙って聞く。
- 机上の整理。
- 提出物は確実に。
- 持ち物は「川小っ子」の通り。
- 指示の見届けをしてから、次の活動へ。
- 校内のルールは、全校で守る。
- 安心して学ぶ環境を整える。

○教材研究・授業準備

- 単元の指導目標の達成に向けて
- 児童の実態に合わせて
- 一人一人が主体的に学べる手立て
- 学習形態の工夫 (ペア・トリオ・グループ)
- 教師対児童だけにならないように
- 効果的なICT活用
- 授業ですることと家でできること
- 「楽しい・分かる」授業を目指した教材研究

○日々の取組 (学習習慣・豊かな表現力・支那的風土の育成)

レックスタディ 学習内容の確認 15分のモジュール学習	読のスピーチ テーマや話題の工夫 ICTの活用 (朝の会)	書いて伝える 学年に応じた 感想の内容や文章量
かがやき発表 視点を持たせた 発表 (朝の会)	家庭学習 算数・漢字・計算 タイピング・調べ学習	読書習慣 自分で読む力 興味・関心

どの学年でも行い、系統的に積み重ねる。(川小スタイル)

研究内容 (2) 主体的に学び合う児童の育成に向けた授業の工夫 (実践の蓄積)

- 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定
- 対話や気づきの質を高める工夫
- 次の学びに生かす工夫

研究内容 (1) 学びとる喜びや楽しさを実感できる授業づくりの推進・深化 (学習指導)

○学習規律 (指示とルールの徹底)

- チャイムで始める。
- 黙って聞く。
- 机上の整理。
- 提出物は確実に。
- 持ち物は「川小っ子」の通り。
- 指示の見届けをしてから、次の活動へ。

校内のルールは、全校で守る。
安心して学ぶ環境を整える。

○教材研究・授業準備

- 単元の指導目標の達成に向けて
- 児童の実態に合わせて
- 一人一人が主体的に学べる手立て
- 学習形態の工夫 (ペア・トリオ・グループ)
- 教師対児童だけにならないように
- 効果的なICT活用
- 授業ですることと家でできること
- 「楽しい・分かる」授業を目指した教材研究

具体的な取組

宇都宮スタイル

教育目標 川之江小学校の具体的な取組

心豊かで たくましく 生きる子を育てる 一 自立（いのち）一 共生

研究主題 主体的に学び合う児童の育成—ICTを活用した協働的な学びを目指

基本方針
豊かな学力の向上と生徒指導の徹底を図り、児童一人一人の姿を認め、伸ばす
誇りのある学校を全校職員が協働して作り出す。

研究内容（１） 学びとる喜びや楽しさを実感できる授業づくりの取組

○学習規律（臨空とルールの徹底）

- チャイムで始める。
- 黙って聞く。
- 机上の整理。
- 授受物は確実。
- 持ち物は「川江っ子」の通り。
- 始末の見届けをしてから、次の活動へ。

校内のルールは、全校でやる。
安心して学ぶ環境を整える。

○教材研究

- 単元の目標を達成するために学ぶ手立て
- 授業の展開（ペア・トリオ・グループ）
- 児童だけで学ばないようICT活用
- 「できることと家でできること」の違いを「楽しい・分かる」授業を目指した教材研究

○日々の取組（学習習慣・豊かな学力、支持的風土の育成）

レックスタディ
学習内容の確認
15分のモジュール学習

読みのスピーチ
テーマや誌型の工夫
ICTの活用（朝の会）

書いて伝える
学年に応じた
感想の内容や文章量

かがやき発表
視座を持たせた
発表（朝の会）

家庭学習
算数・漢字・計算
タイピング・調べ学習

読書習慣
自分で読む力
興味・関心

どの学年でも行い、系統的に積み重ねる。（川小スタイル）

研究内容（２） 主体的に学び合う児童の育成に向けた授業の工夫（実践の蓄積）

- 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定
- 対話や協働的な学びの場づくり
- 次の学びにつなげる

○日々の取組（学習習慣・豊かな表現力、支持的風土の育成）

レッツスタディ

学習内容の確認
15分のモジュール学習

朝のスピーチ

テーマや話型の工夫
ICTの活用（朝の会）

書いて伝える

学年に応じた
感想の内容や文章量

かがやき発表

視点を持たせた
発表（帰りの会）

家庭学習

音読・漢字・計算
タイピング・調べ学習

讀書習慣

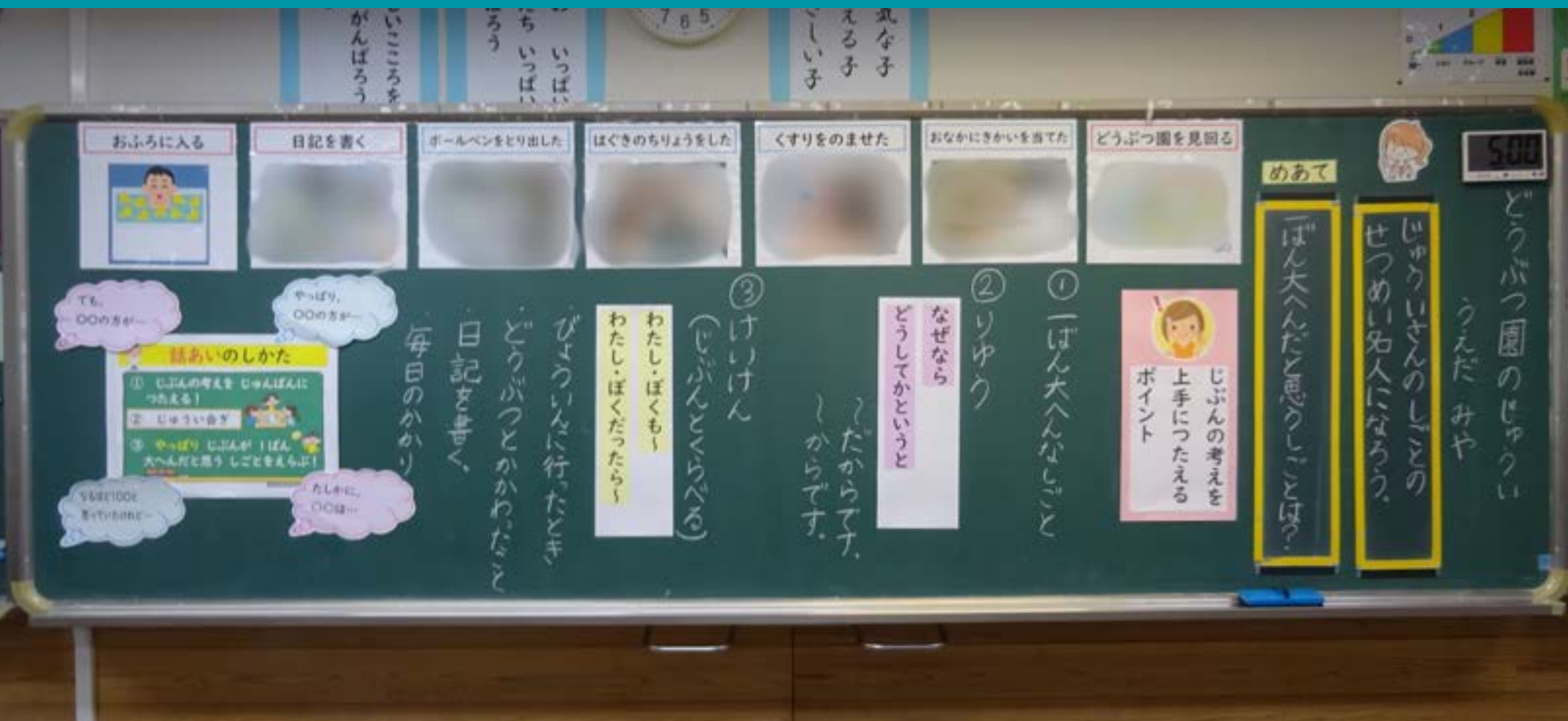
自分で読む力
興味・関心

どの学年でも行い、系統的に積み重ねる。(川小スタイル)

ICT





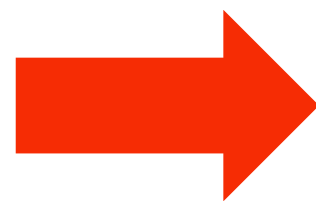




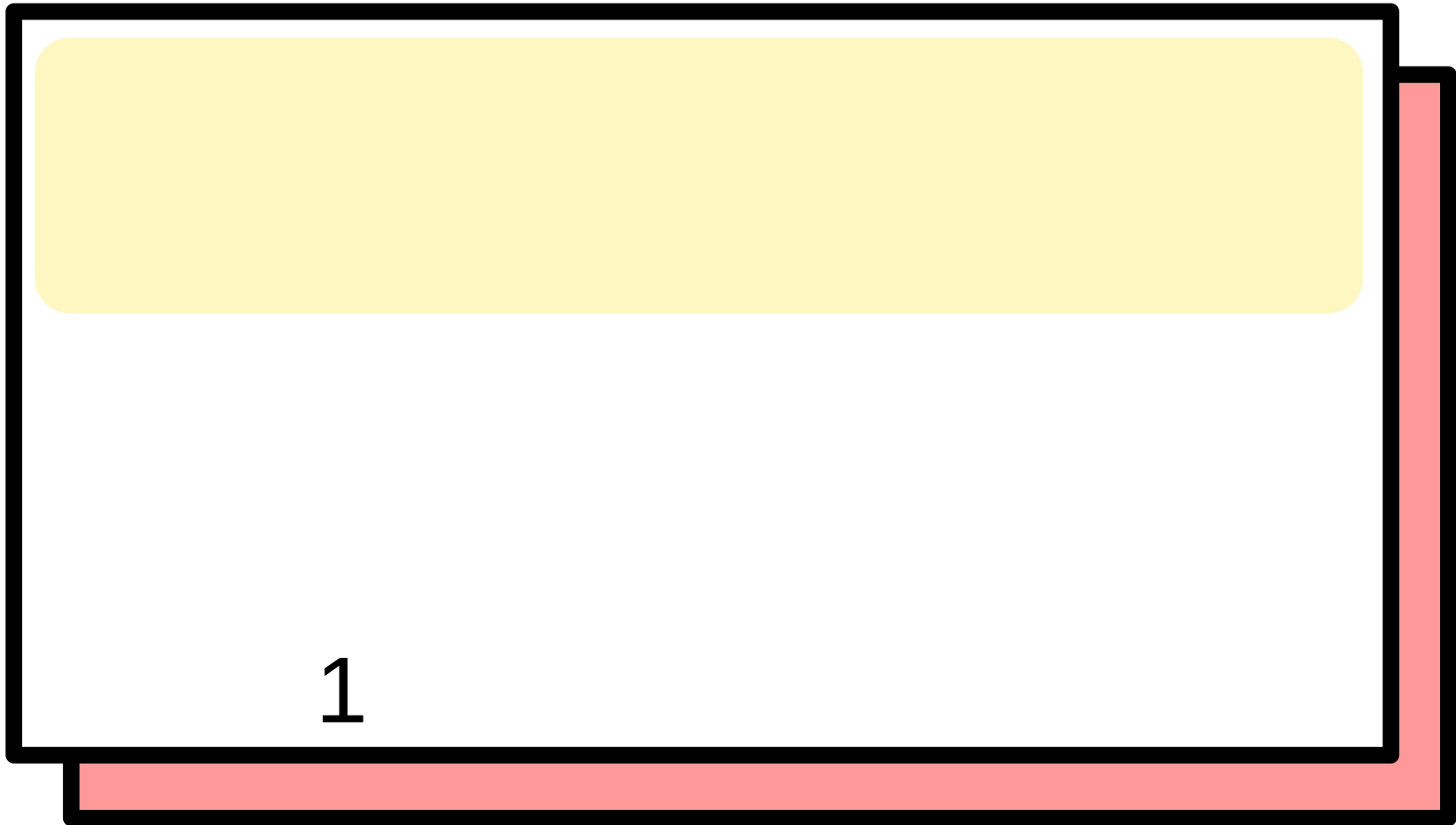
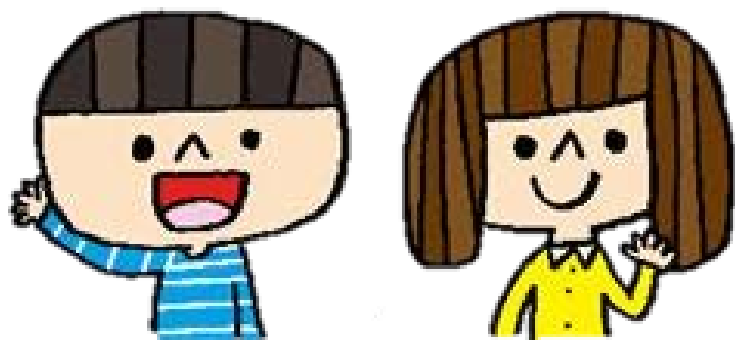
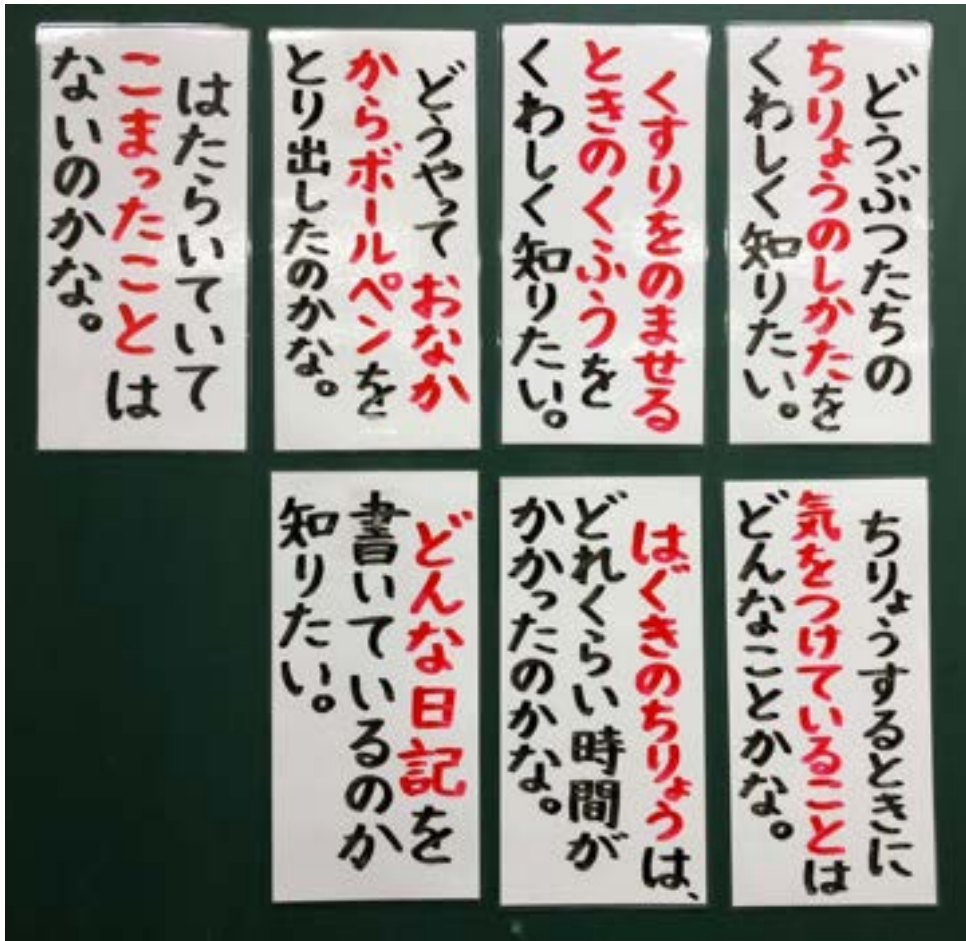
問い

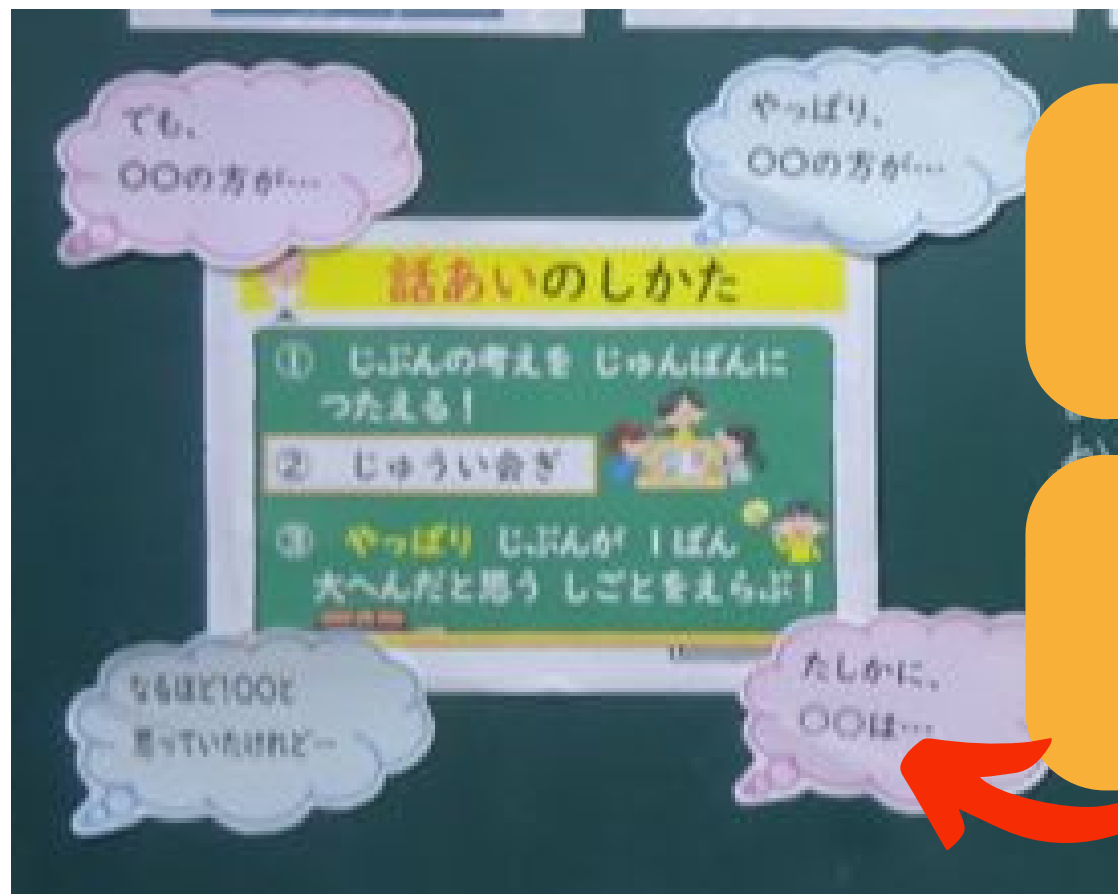
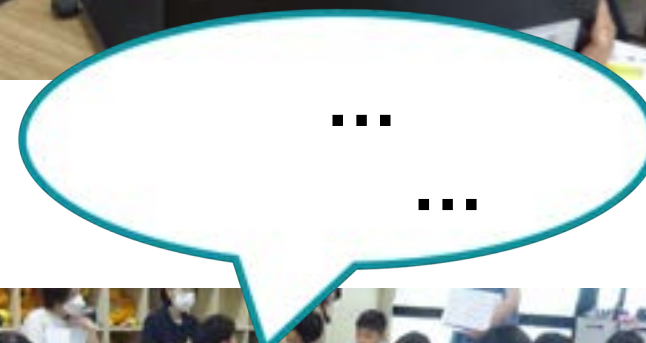
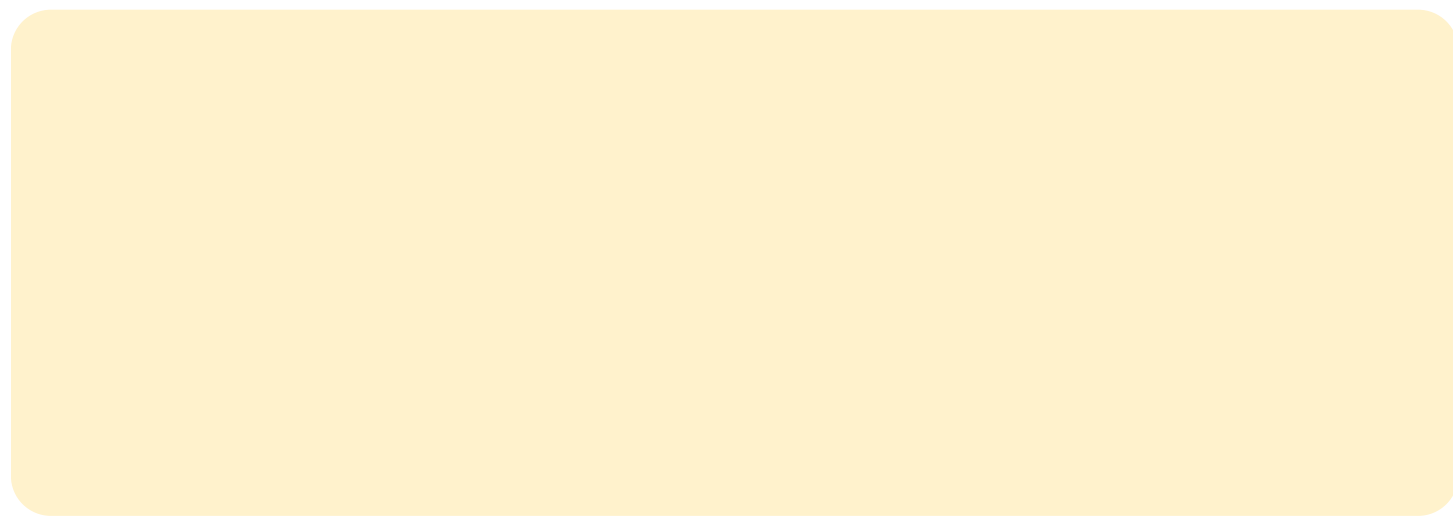
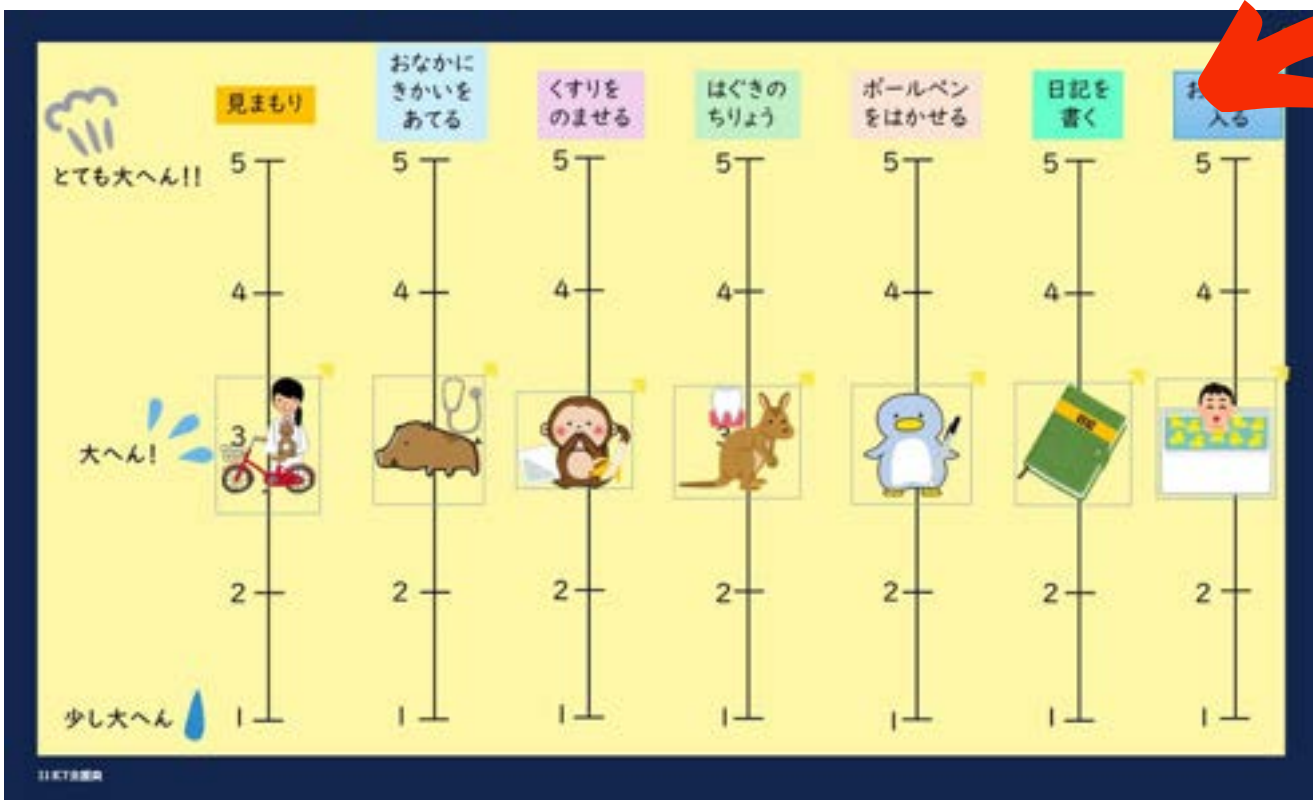


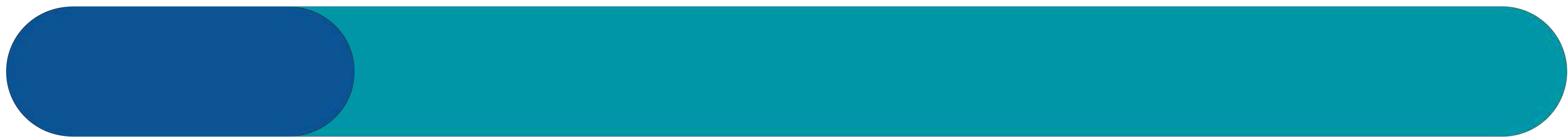
目標



ゴール





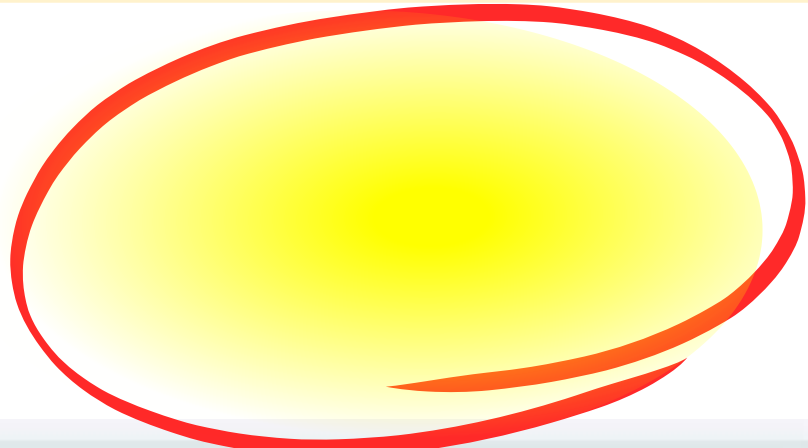
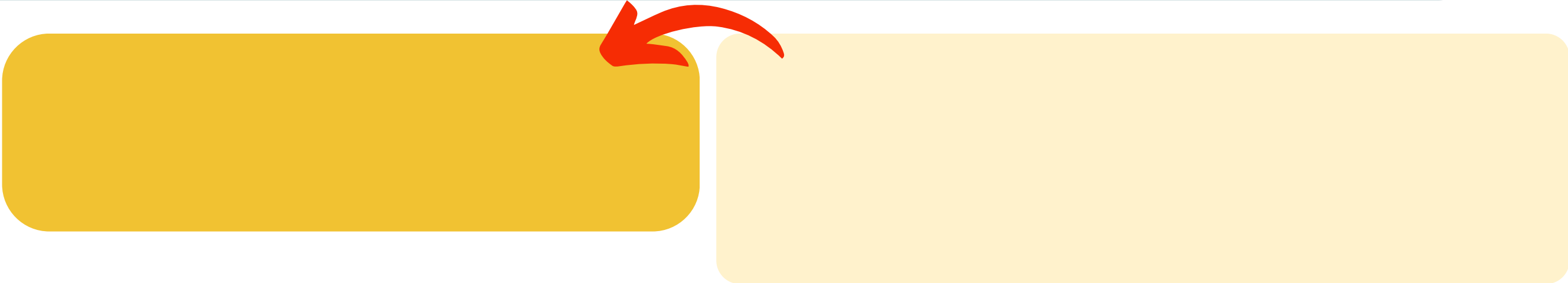


9月26日(木) 名前

どうぶつ園のじゅうい

	書き方	つたえ方
3いいね 👍👍👍	自分のけいけんを入れて、大へんなりゆうが4文いじょう書けている。	聞いている人に聞こえる声、聞きとりやすいはやさでつたえた。
2いいね 👍👍	自分のけいけんを入れて、大へんなりゆうが書けている。	聞いている人に聞こえる声でつたえた。
1いいね 👍	大へんなりゆうが書けている。	じぶんの考えをつたえることができた。

真有石川

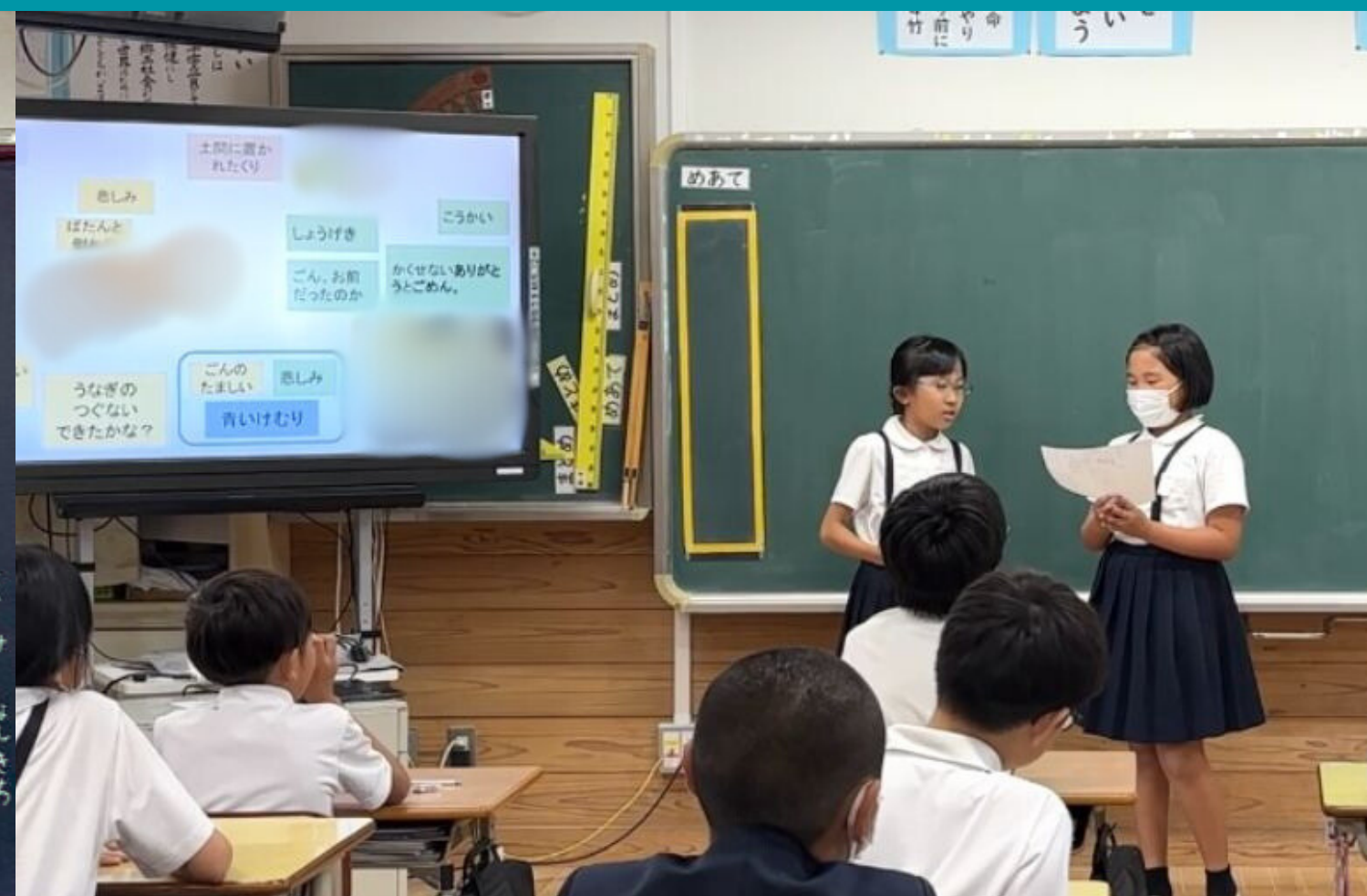
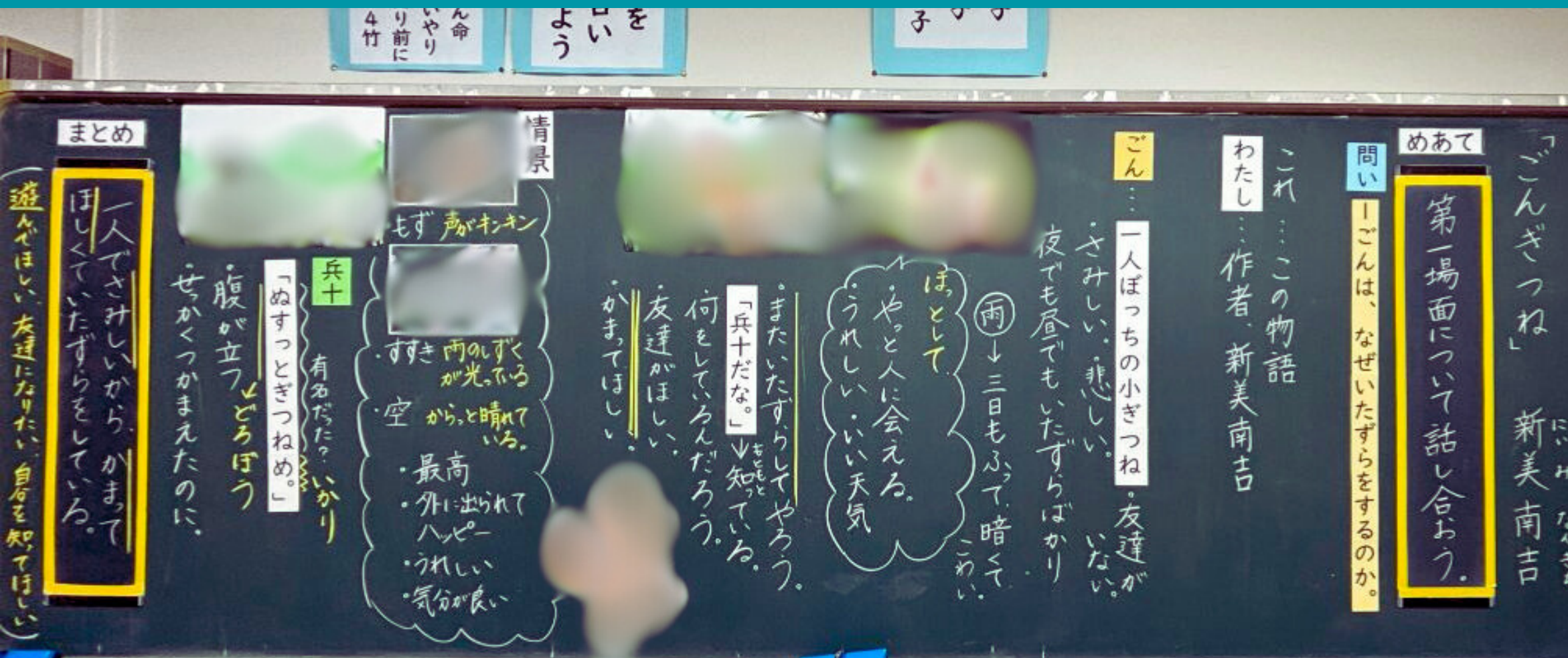


わくわくワード

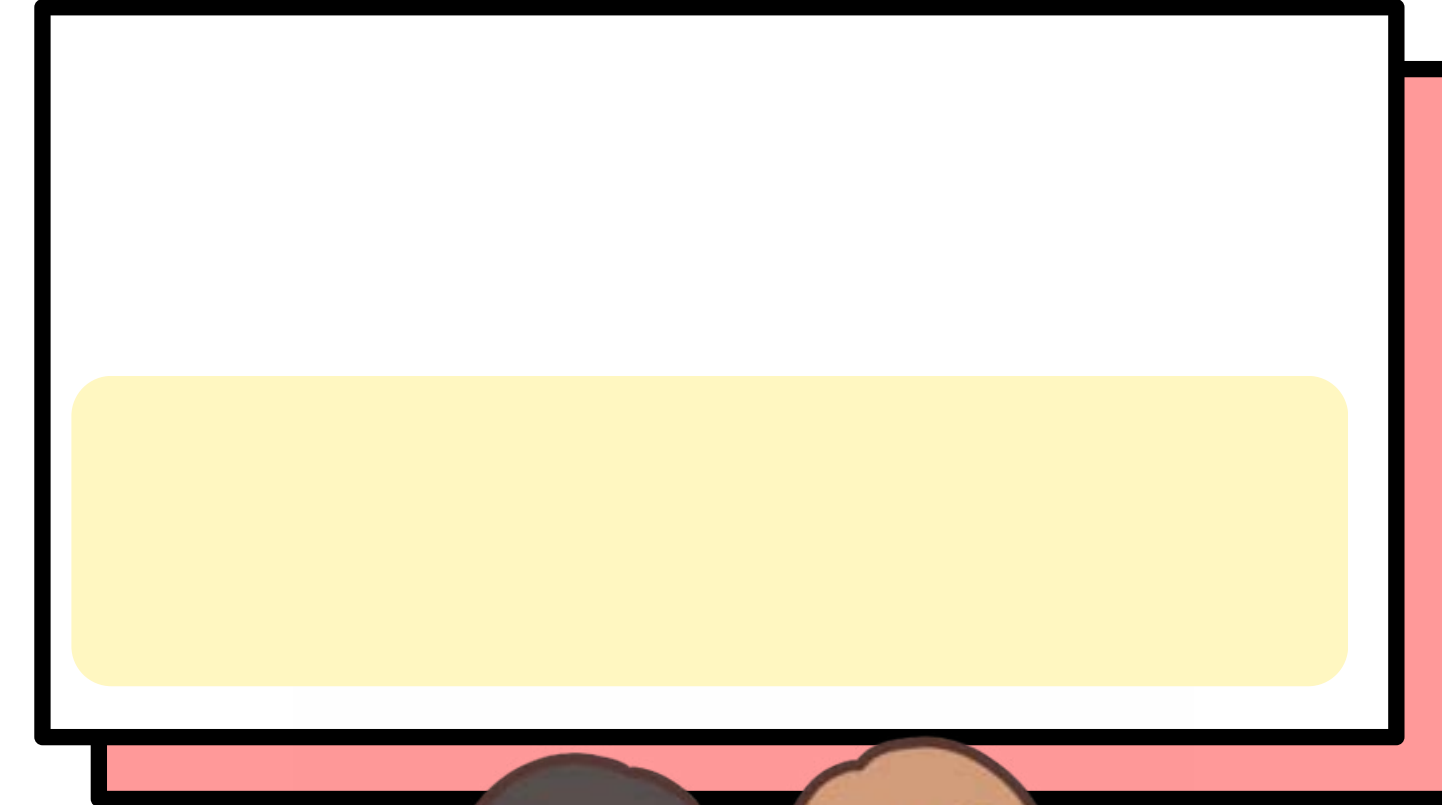
- アイディアがわく!
- 勇気がわく!
- わくわくする!

みんなで対話を楽しもう!

どうして?	いいね!	もっと	くらべる	つなげる	まとめる
いつ?	なるほど!	なぜかという理由	くらべると	合わせると	まとめると
どこで?	確かに!	理由は	同じで	まず	だから
だれが?	ナイス!	くわしく言うと	似ていて	次に	やっぱり
何を?	面白い!	特に 例え	ちがって	最後に	要するに
どのように?	同じ!	他に さらに	あるいは	だから	つまり
例えば?	いいアイディア!	それに しかも	または	そして	
	はじめて知った!	しかし また			
	分かりやすい!	そのため			

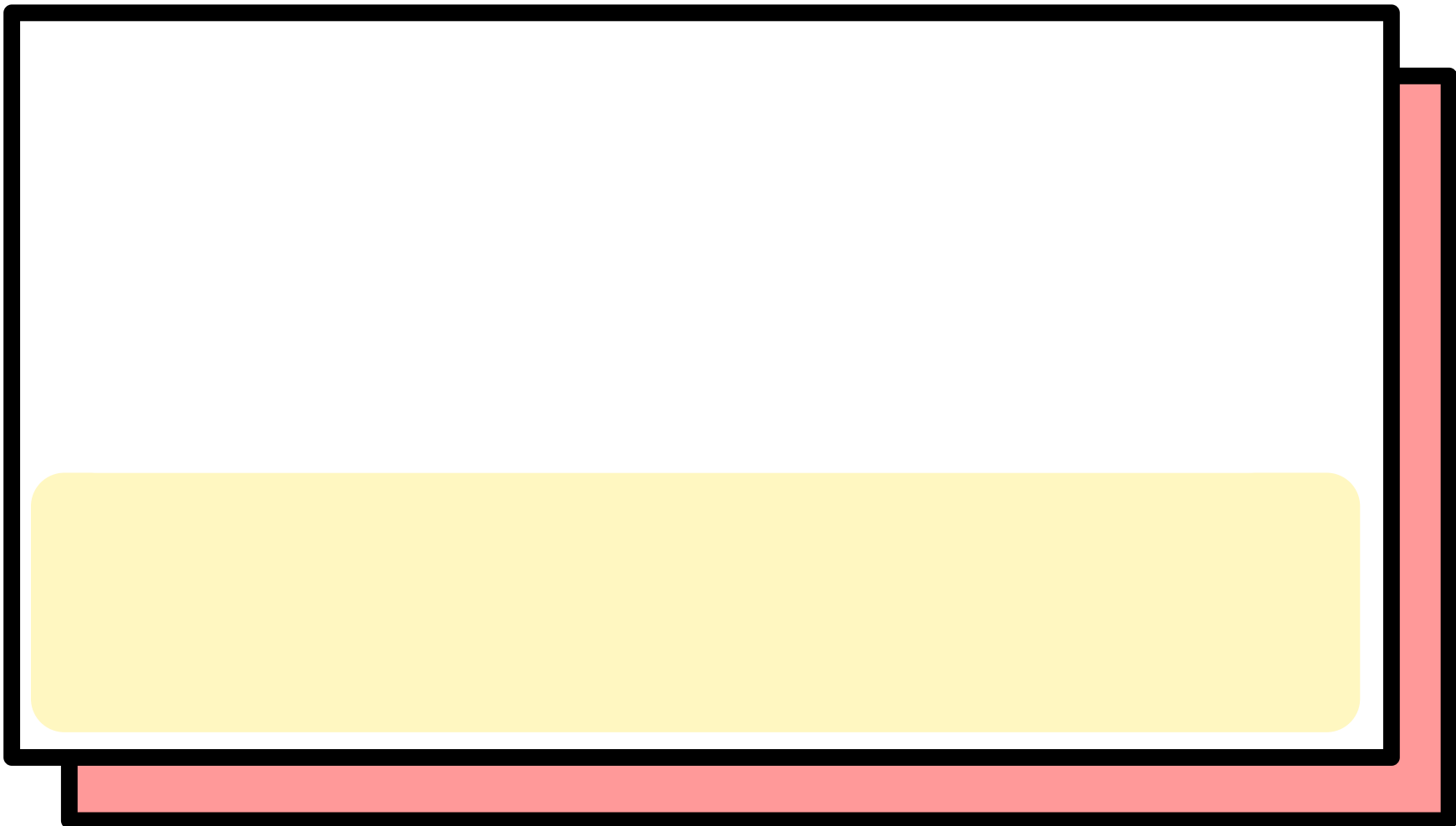


A cartoon illustration of a young boy and girl. The boy on the left has dark hair and is wearing a green shirt. The girl on the right has brown hair and is wearing an orange shirt. Both are smiling and waving their right hands. They are positioned in front of a background with a pink horizontal band at the top and a white band below it.

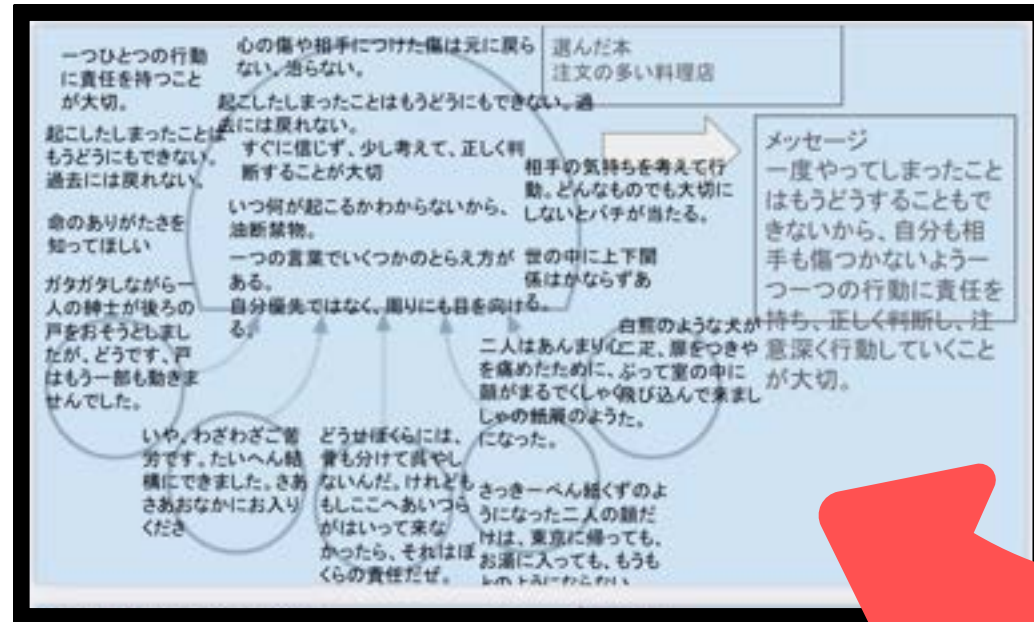
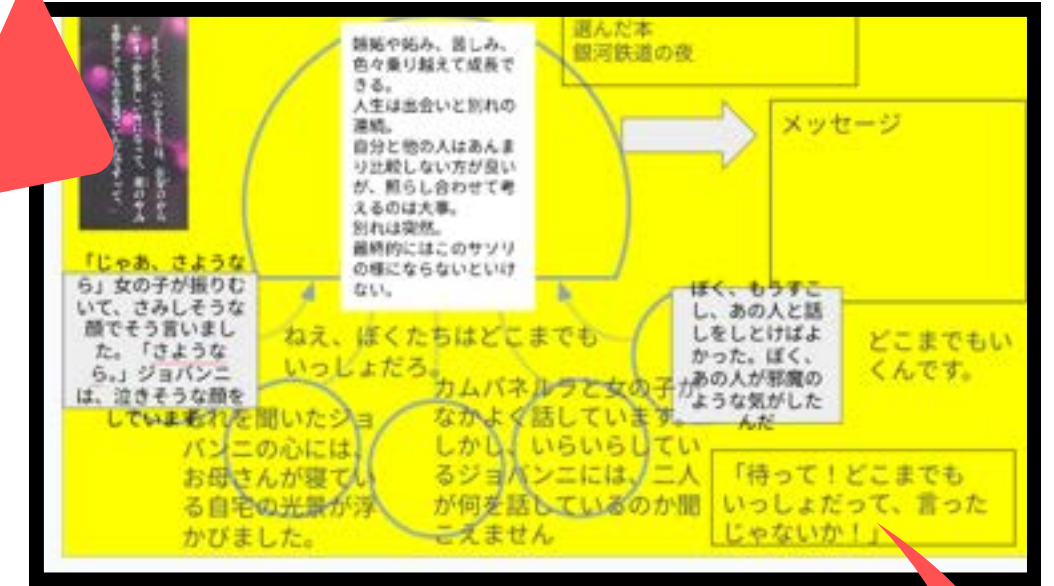
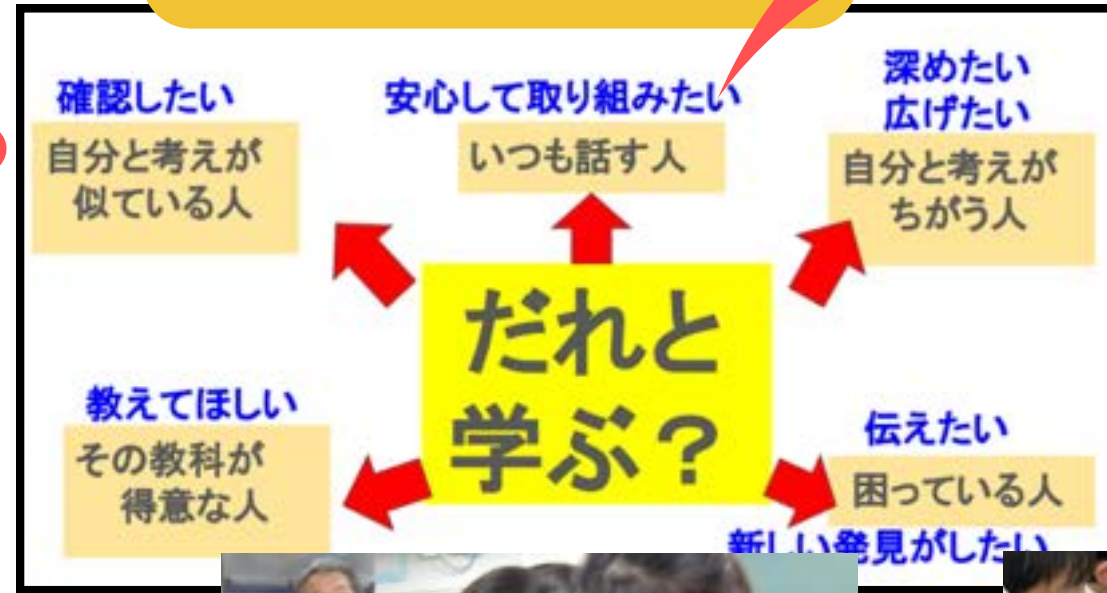
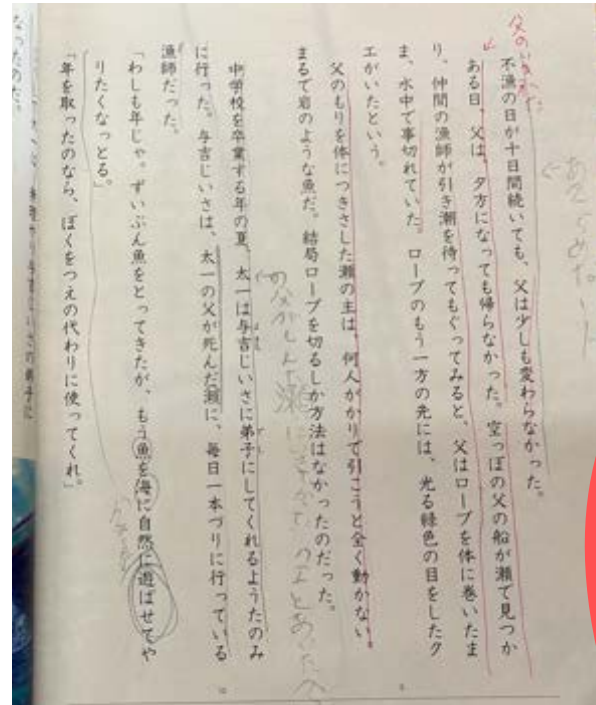








学び方カード



対話の繰り返し

学びの視点
見通し
ふり返し

	登場人物の生き方についてまとめる	受け取った生き方の鍵について話し合う
3 いいね	登場人物の生き方が現れている部分に着目し、生き方の鍵を見つけて自分の考えをまとめている。	自分と相手の意見を関連付けながら考えを広げる話し合いができた。
2 いいね	自分と登場人物の生き方を比べてまとめている。	いろいろな立場の人の意見の共通点や相違点を見つけながら話し合った。
1 いいね	登場人物の生き方についてまとめている。	自分の意見を友達に伝えた。

振り返り①	振り返り②	振り返り③	自分の考え
ブック・ウーマンがカルが本を読んでもらったことをプレゼントと言ったのは、最初、本に何の興味もなく、ニートの引っかけたあとみたいな文字と言っていたのに、本を届け続けると、本を読んでもくれるようになっていて、図書館員として嬉しかったからプレゼントと言ったのかと考えました。また、問を追求していくと、カルはどのようにして急にプレゼントをしたくなったのか、ブック・	新しい問いのブック・ウーマンはなぜカルに本を読んでもらったのかを追求していくと、お母さんがはこらしげに「本を読める子をもう一人増やしていただきましたのでー。」と言われて、自分も聞いてみたくなったんじゃないかなと考えました。また、もうひとり増やしていたんだというのは、ブック・ウーマンとラークもなにか繋がりがああるのかな？という疑問もできました。	天陽さんと空さんと交流をしてみて、「確かにこれはどうということなんだろう？」「これとこれがつながってるんじゃない？」「ここどこが似ている気がする！」という新しい疑問やわかったことが増えました。そして、交流をしたあと、本の良さがわかっていなくても、本を届ける図書館員として、本を読める子を増やせたことが嬉しかったから、カルが本を読んでもらったことがプレゼ	私は、ブック・ウーマンに本が好きな人です。でも、ずっと前から好きだったわけではなく、昔は読んだり、話を聞く方が好きでした。本を読むようになったのは、お母さんの死をきっかけに、お母さんが本を読んでいたのを見て、私も読んでみたいと思ったからです。最初は、お母さんの本を読んでいたのですが、お母さんの本は、お母さんの生き方について書いてあったので、お母さんの生き方について知ることができました。お母さんの本は、お母さんの生き方について書いてあったので、お母さんの生き方について知ることができました。お母さんの本は、お母さんの生き方について書いてあったので、お母さんの生き方について知ることができました。
カルが急に本に興味を持った理由は、毎日持ってくるブック・ウーマンが本の良いところを伝えたかったんじゃないかなと思いました。それでカルはラークに本の内容を教えてもらって本に興味を持ったんじゃないかなと考えました。私はクラゲチャートにやっていたけどロノノートでスライドを作ってもいいかなって思いました。調べていて何でラークに本の内容を教えた買ったの	今日調べてみて、本に興味を持った理由はラークが毎日読んでいてそれでカルも読んでみようかなと思ったのかな？またもう一つの理由は、ブック・ウーマンの本を読んでも欲しいという思いが伝わったのかな？と思いました。	友だちの意見を聞いて「ブック・ウーマンはどんな日も本を届けるのか？」と「突然ぼんを読み始めたのか？」は驚かっていることが分かりました。また果子ちゃんの意見に納得しました。友達と交流するのは大切だなと思いました。	私はカルと同じように本があまり好きではありません。それで本が好きな友達に「この本面白いから読んでみて」と言われ借りて読んでみることにしました。それからそのシリーズが好きになり、本を読むようになりました。カルみたいに本の良さを教えてくれたブック・ウーマンみたいに私にも本の良さを教えてくれた友達がいます。また私は同じシリーズばかり読んでいたので次
ブック・ウーマンとは、80年ほど前のアメリカで買本を助ける仕事を担った女性たちの呼び名。だからブック・ウーマンは、本当の名前ではない。カルは本が嫌いだったけどブック・ウーマンの勇気を見たからいつか読んでみるほど面白い本なんだと思ったから	ブック・ウーマンはカルが本が嫌いだったから自分から行動を起こして読んでみたけど	他の人の意見を、聞いて僕のブック・ウーマンの意味がわかった気がしました。それはブック・ウーマンは、カルにとってとても大事な人だから僕にできることはあると聞いたのはブック・ウーマンを尊敬していたんだなと思いました。	私は、本が好きでな方だと思います。私はブック・ウーマン見て私は、自分にはこんなことできないなと感じました。私は、そんなことする勇気もないからブック・ウーマンがこのようなことができたのは凄いと思います。私も、ブック・ウーマンみたいになりたいけど私は勇気がないのでブック・ウーマンみたいに勇気のある人になりたいけど僕の力になることはできるのでそんな

校内研修の充実 **リーディングDXの推進**

1

関係機関の
指導助言

2

リーディング
DX通信

3

ICT支援員
との連携

4

校務のDX化

1

文部科学省 平井奉子氏

学習↷研修↷校務↷社会は相似形

「児童一人一人」が主語

協働することを決めるのは誰ですか？

自ら学びを調整する場はありますか？



1

東京学芸大学との連携

インクルーシブな 体育をめざして

仲間とともに学ぶ経験は、**体力や技術レベル、性別の違いにかかわらず**、生涯を通じて豊かなスポーツライフを実現するための大切な学びの機会である。



鈴木 直樹 准教授

1

特別支援教育とICT



香川大学
坂井 聡教授

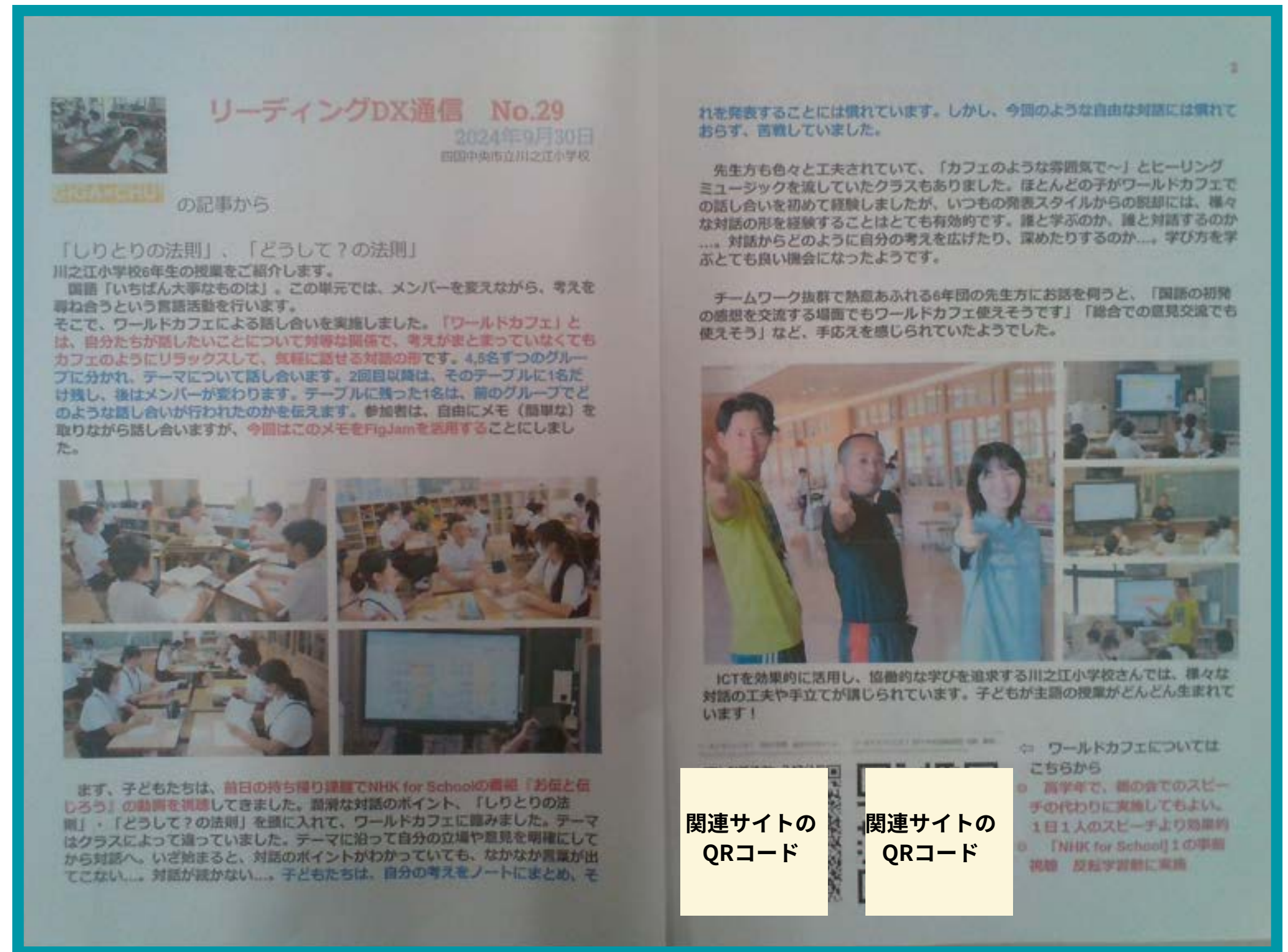
デジタル・シティズンシップ教育



メディア教育研究室
今度 珠美先生

2 リーディングDX通信の発行

LDXの 最新情報 など 実践事例の 分析



3 ICT支援員との連携

NEXT GIGA

学びが変わる→授業を変える
個別最適な協働的な学びの
実現のためのヒント

知識・学び方も教える
委ねる

ICTは強い味方



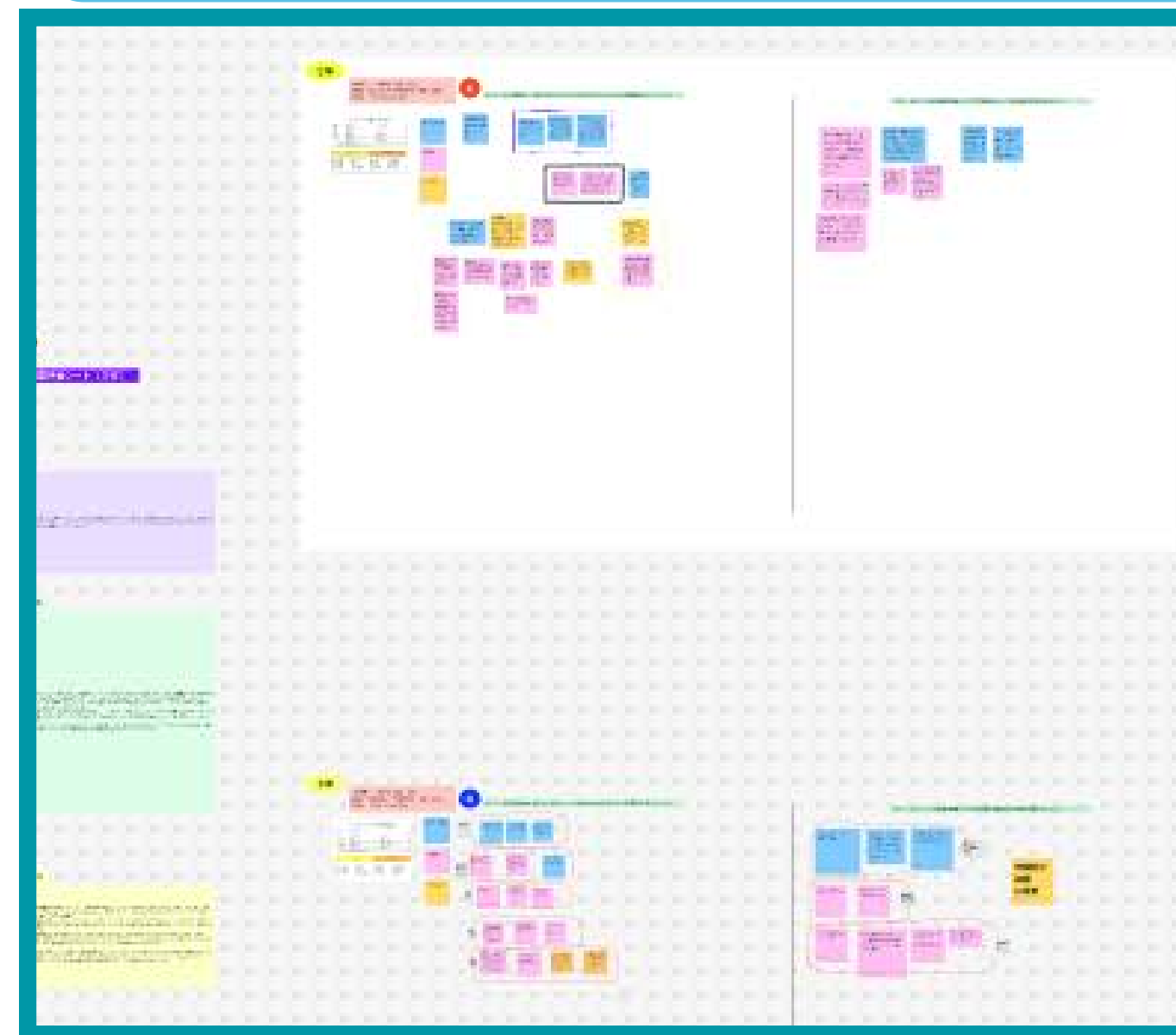
4 校務DXの推進

チャットスペース作成

ICT

- ▼ スペース
-  6 年団
-  R6 低学年団
-  R6 高学年団
-  R6 中学年団
-  川之江小学校スペース
-  5 年団
-  4 年団
-  3 年団
-  1 年団

研究協議でのFigJam活用



4

校務DXの推進

マラソンカード

マラソン練習記録

11月	5 日	火曜日		周
	7 日	木曜日	18	周
	8 日	金曜日	22	周
	11 日	月曜日	21	周
	12 日	火曜日		周
	14 日	木曜日	20	周
	15 日	金曜日	24	周
	18 日	月曜日	19	周
	19 日	火曜日	20	周
	21 日	木曜日	20	周
12月	22 日	金曜日	23	周
	25 日	月曜日		周
	26 日	火曜日		周
	28 日	木曜日	18	周
	29 日	金曜日	24	周
	2 日	月曜日		周
	3 日	火曜日	25	周
	5 日	木曜日	12	周
	6 日	金曜日	19	周

外周1周 走った周数 走った距離
140 m × 285 = 39900 m

走った距離が四国中央市からどこまでかグーグルマップで調べてみよう！



メディアバランスけんこう貯金

メディアお休み時間を、守れたかチェックしよう！

↓自分のメディアを休む時間を赤いわくの中に入力しよう！
(例：食事中、宿題中、ねる1時間前、朝起きてすぐなど)

食事中、宿題中、寝る1時間前、朝起きてすぐ、30分使ったあと、8時以降

日	月	火	水	木	金	土
	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23
- ▼	3 ▼	2 ▼	2 ▼	3 ▼	2 ▼	3 ▼
11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30
3 ▼	3 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	3 ▼
12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7
2 ▼	3 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼
12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼	2 ▼

自分のメディアお休み時間ができたかな？

3いいね
👍👍👍

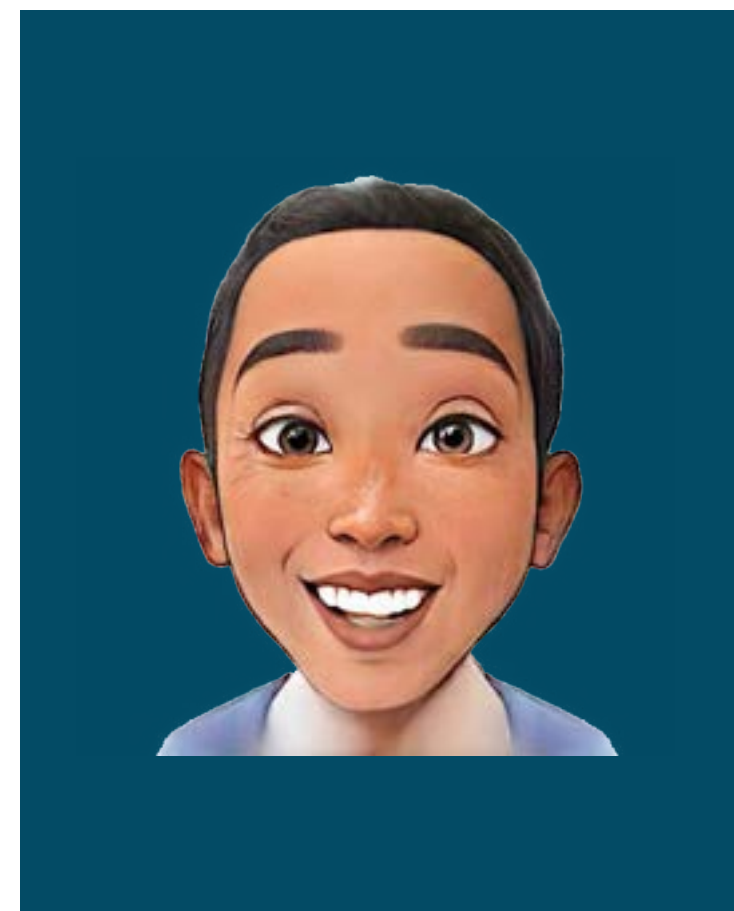
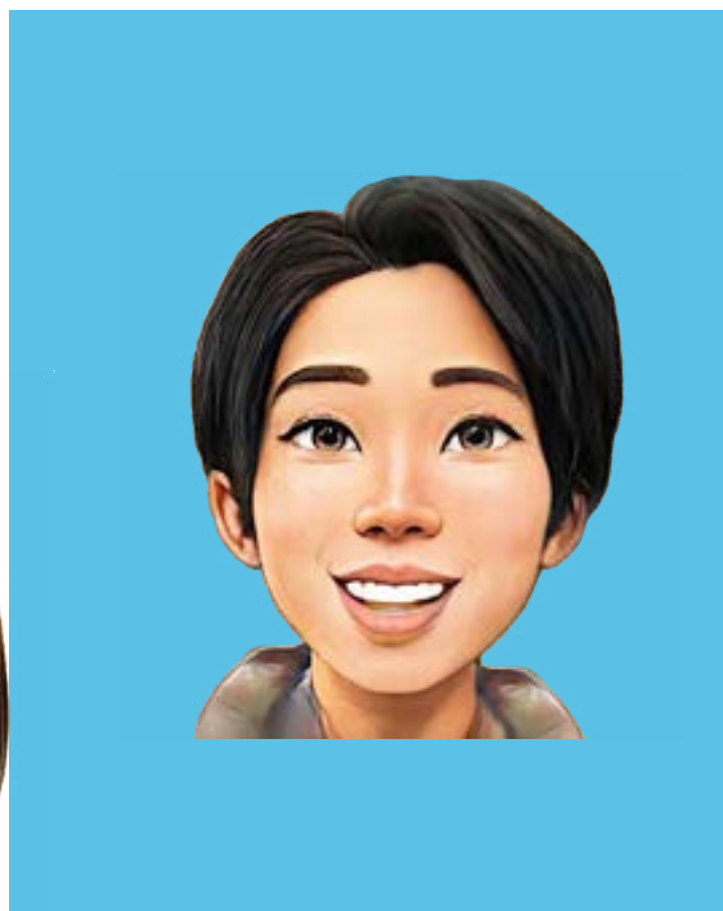
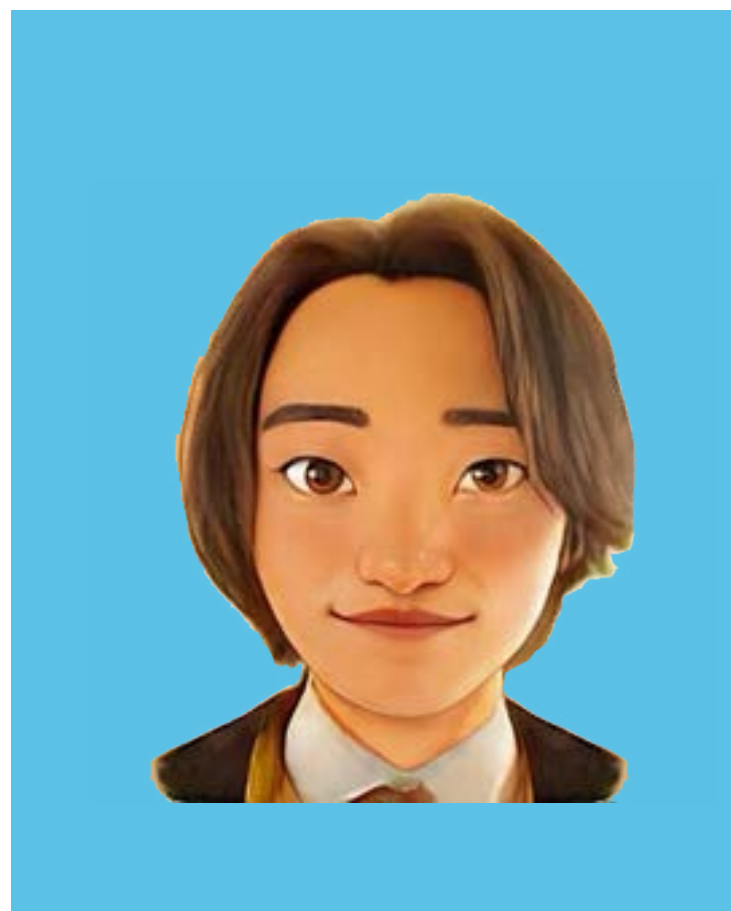
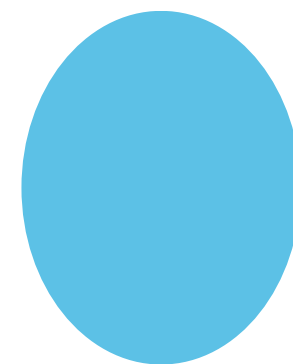
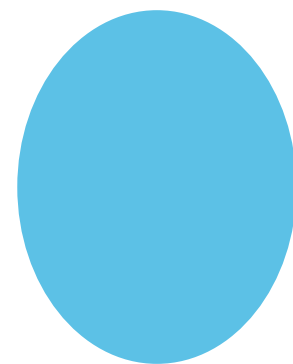
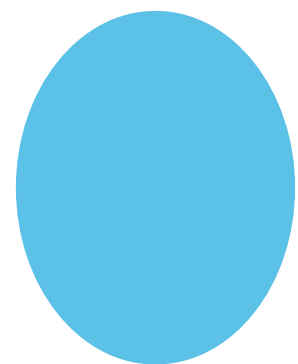
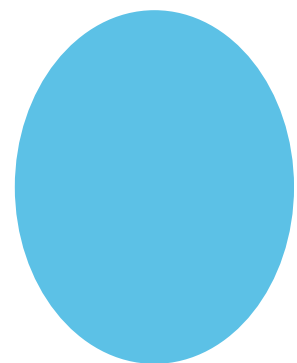
かんぺきにお休みできた！

2いいね
👍👍

ほとんど休むことができた！

1いいね
👍

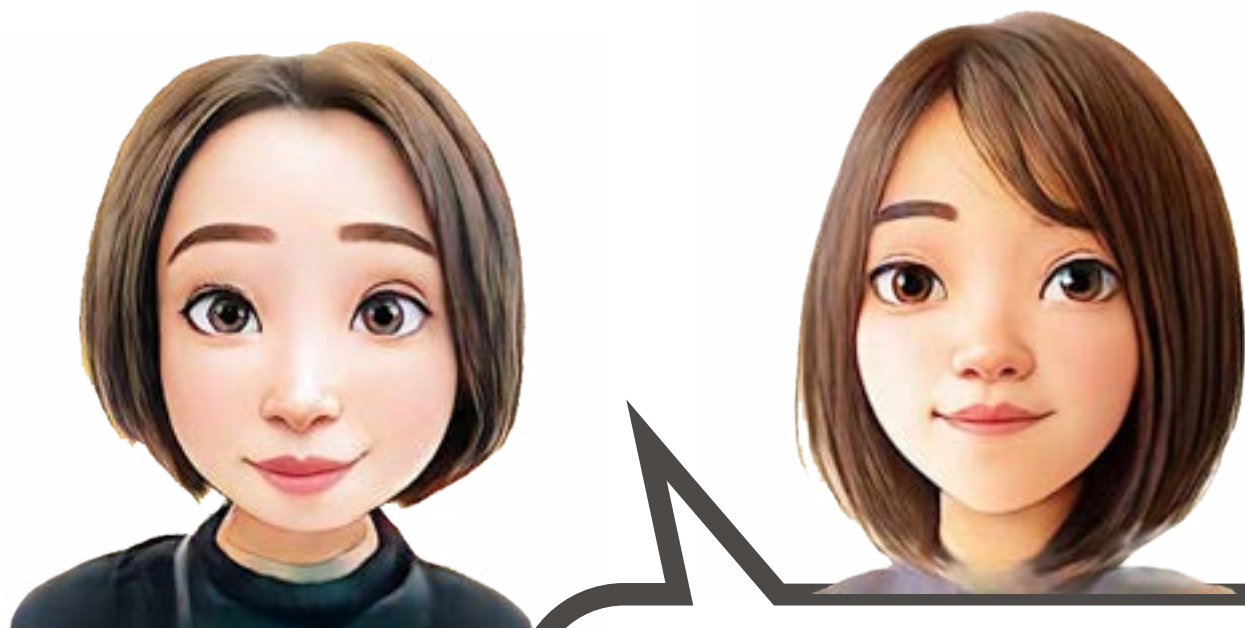
少し休むことができた。





「ふゆコレクション」の中から、とっておきの冬を
伝え合いました。協働的に学ぶ中で、冬をもっと楽しむ
ヒントを見付けました。





国語科の学習と横断し、歌い方を考えました。様々な考え方や学び方があることに児童自身が気づき、表現することの面白さを感じました。





総合的な学習の時間「生き方のカギを見つけよう」と横断しながら国語科の学習を進めています。立松和平の命シリーズから「生き方のカギ」を主体的に取り組みました。





HADO

インクルーシブな体育を目指し、ARを活用した体育。
戦術的気付きを見出し、絵や図、言葉や動きなどで仲間に
伝え、協働的に学びながら、ゲームを楽しみました。



DX

オンライン交流



A photograph of a classroom where several students are seated at desks, each with a laptop. The students are wearing school uniforms; some are in dark blue sweaters with white collars, while others are in white shirts with dark suspenders. They are all looking at their laptops, and some are wearing face masks. The background shows shelves with various items, possibly supplies or books. The text 'ご清聴ありがとうございました!' is overlaid in the center of the image.

ご清聴
ありがとうございました!